

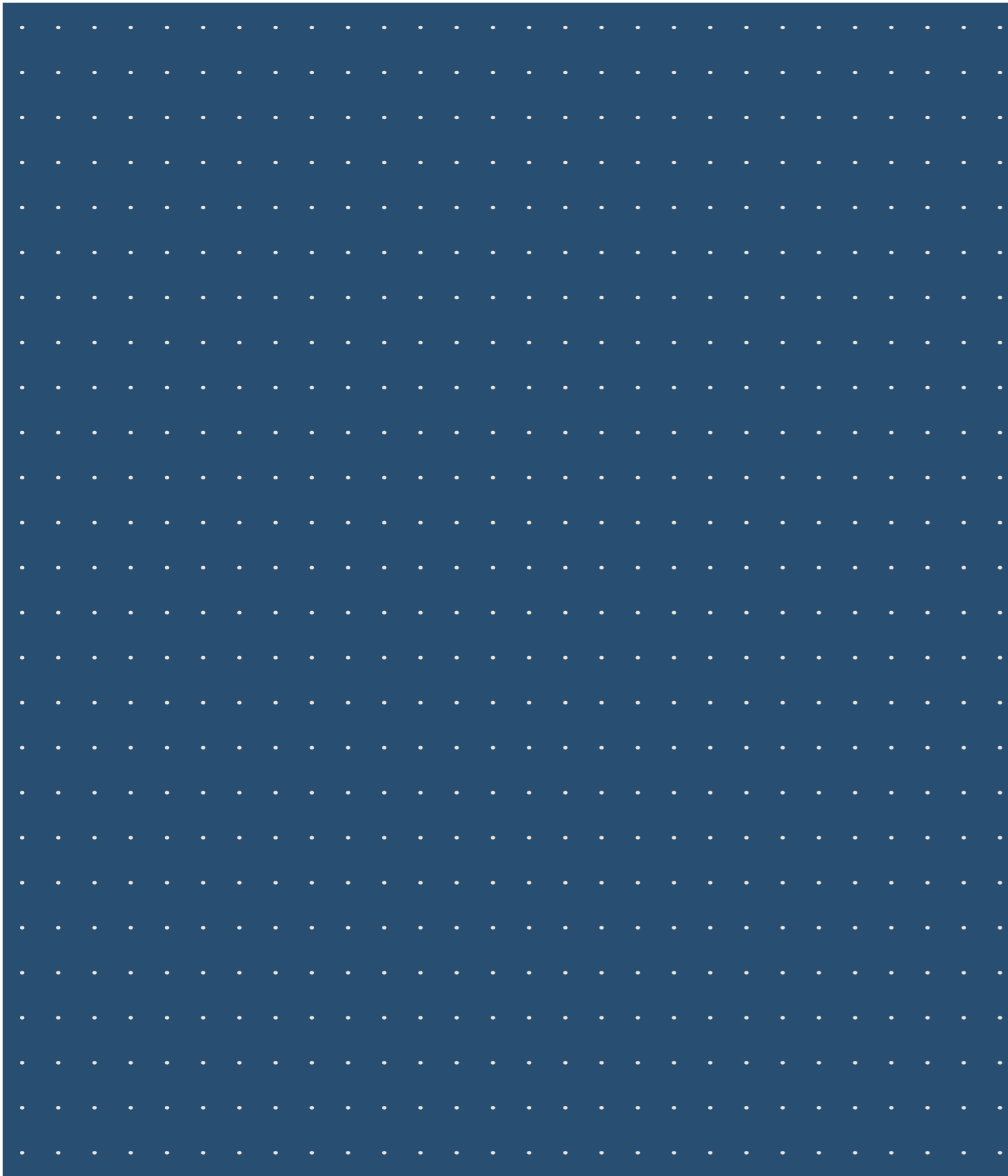


岐阜大学医学部附属病院 医師育成推進センター  
※病院見学も随時受付中!! 詳細については、お気軽にお問い合わせください。

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
TEL : 058-230-6048  
FAX : 058-230-6020  
E-mail : sotsugoj@gifu-u.ac.jp  
URL : <https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/>



平成29年度  
卒後臨床研修  
プログラム  
岐阜大学医学部附属病院



Gifu

University Hospital Gifu University Hospital Gifu University Hospital Gi  
Hospital Gifu University Hospital Gifu University Hospital Gifu Universi  
Gifu University Hospital Gifu University Hospital Gifu University Hospit  
University Hospital Gifu University Hospital Gifu University Hospital Gi

Hospital Gifu University Hospital Gifu  
rsity Hospital Gifu University Hospital  
ifu University Hospital Gifu University  
Hospital Gifu University Hospital Gifu

University

Hospital

Gifu University Hospital Gifu University Hospital G  
University Hospital Gifu University Hospital Gifu U  
Hospital Gifu University Hospital Gifu University H  
Gifu University Hospital Gifu University Hospital G

# 基本方針 人間性豊かな医師の育成

- 1 基本の習得から先進医療の経験までバランスよく研修を行います。**

大学病院の研修の特色の1つに協力病院とのたすきがけコースがあります。大学病院でのアカデミックでかつ高度な医療の経験、多数の協力病院である市中病院でのプライマリ研修を経験できます。大学病院の中でも救急外来研修は充実してきました。
- 2 研修医の声に基づく研修を実現します。**

研修医とのヒアリングを行い、救急外来研修を改変し、検査部研修を導入してきました。研修スケジュールは研修医のニーズを尊重して計画しています。
- 3 社会からの求められる役割を自覚し、自ら研鑽できる医師を育成します。**

自主性をもち、自分のニーズに応じた研修スケジュールが可能です。我々は、岐阜県の地域医療の中核病院、最後の砦としての大学病院の診療にあたる自覚を身につけ、患者中心の医療を実践できるように指導します。

## 5つのチェックポイント

### Check Point 1 研修の自由さ! まさに「GO Order Made」

**研修診療科の変更が原則1ヶ月前まで可能!!**

柔軟に研修が変更できるのが大変好評!!

**自由科目の期間が13ヶ月!!**

希望の診療科で研修し後期研修につなげる。

気になる診療科を回って研修する、など様々な研修が可能。

センターで研修スケジュールのバックアップあり。

### Check Point 2 指導医の数と質に自信アリ!

### Check Point 3 どの大学出身でも安心

メジャー科だけでなくマイナー科と呼ばれる診療科にも多数の指導医がいます。ほぼマンツーマンの指導で手技もバッチリ! 科の垣根を越えた討論会もあり、常に向上心を忘れずにいられる環境があります。

### Check Point 4 岐大病院ならではの救急外来研修!

大学病院の研修だけでなく協力病院の研修も1ヶ月単位で選択可能で、2年間で6病院研修した先輩もいます。

出身大学は岐阜大と他大学出身者が半数ずつ。センター主催で研修医、上級医との交流の場を積極的に設けており、仲良く研修生活が送れます。

### Check Point 5 研修環境も充実!

院内において、文献検索(UpToDate)や手技検索(ProceduresCONSULT)が可能。各種シミュレータも大学病院ならではの豊富さ。研修医室も北診療棟に新築移転(平成25年4月)し、さらに充実。

大学病院だと「ERが学べるか心配」の声に対し、高度な救急研修+救急外来研修を実施。さらに市中病院においてER研修も可能。心配なく、幅広い救急研修ができます!

## 病院長あいさつ



岐阜大学医学部附属病院長

小倉 真治

岐阜大学医学部附属病院は岐阜県唯一の大学病院です。私たちが皆さんに提供するものは、他の病院では得られない以下のような経験です。

1. 新専門医プログラムへの円滑な導入:基幹病院としての大学病院
2. 量と質で圧倒的な指導医によるきめ細かい指導体制:大学病院でありながら診療科間の垣根の低さが特徴
3. 軽症から超重症に到る幅広い初期診療の経験:歩いてくる患者からドクターヘリで搬送される患者
4. 当院のみでは経験できない協力病院でのER研修:協力病院でも当院の指導医が緻密な指導を行い、決して研修医を置き去りにしない
5. 豊富な資機材を用いたシミュレーション教育:様々なOff the jobトレーニング機会は全て大学病院を中心として展開
6. AHAのBLSプロバイダーコース:その一環
7. 医師育成推進センター内の広い居住空間:平成25年新築
8. 新築宿舎の提供:平成28年4月完成の専用宿舎
9. 研修スタイルや処遇の大幅な改善、別枠の研修経費:ニーズに沿った研修スタイル、処遇の改善によるワークライフバランスの改善、専門医に至るまでの一貫的な指導
10. 職員満足度:5年連続上昇中

私たちは、患者中心の医療を心から実践するスタッフを集めて育てます。そのためには全職員が楽しんで仕事ができる環境を整えることが使命だと考えています。皆さんも、岐阜大学で初期研修を行い、大きな飛躍をしませんか?

**岐阜大学は決して後悔させません。  
チャンスに後ろ髪はありませんよ!**

## 目次

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 01 基本方針・5つのチェックポイント                     | 10 岐阜大学病院周産期プログラム           |
| 02 病院長あいさつ・目次                           | 11,12 岐阜大学病院初期研修協力病院・施設紹介   |
| 03 医師育成推進センター長あいさつ、臨床実習・初期臨床研修支援部門長あいさつ | 13,14 研修教育環境・救急外来研修         |
| 04 岐阜大学病院プログラム(コース1)                    | 15,16 サポート環境・専門医取得までのサポート体制 |
| 05,06 岐阜大学病院プログラム(コース2,3)               | 17-24 各診療科案内                |
| 07,08 岐阜大学病院プログラム(コース4)                 | 25 募集要項・研修医処遇               |
| 09 岐阜大学病院地域連携プログラム                      | 26 地図・アクセス・病院概要・ホームページのご案内  |

## 医師育成推進センター長あいさつ

みなさんが理想とする医師はどんな医師ですか?優しい医師、患者から信頼される医師、全身を診られる医師、難しい手術ができる医師……。岐阜大学の卒後臨床研修プログラムは、理想の医師に近づくための大切な第一歩(初期臨床研修の2年間)を全力でサポートします。

岐阜県医療の中心、特に重症・難治症例に対する「最後の砦」として機能する岐阜大学病院は、複雑な病態・疾病が関与した患者を診療する機会が多い病院です。本院の研修は、1人1人患者を丁寧に診察し、病態を探索し、治療に当たる姿勢・知識・技能・思考を身につけることを目標としています。豊かな人間性、社会性、プロフェッショナリズム、科学的思考力、判断力を養うことで、医師にもっとも大切な「患者を全人的に診る能力(総合的臨床能力、鑑別診断能力、全身管理能力)」を身につけます。これらの総合力は、将来優れた専門医をめざす上で大切な礎となります。

岐阜大学病院のスタッフは、豊富な知識・経験と優れた技能をもつ専門家集団です。医師、看護師・薬剤師・技師を始め多職種連携が良好にとれ、チーム医療を推進しています。高次救命治療センター、がんセンター等の中央診療部門も充実し、豊富かつ多様な症例を経験することができます。真摯にそして積極的に学ぶ研修医にとって、本院の研修で得られる沢山のものは、将来にむけた大切な「財産」になるでしょう。多くの指導者(メンター)が、ステップアップへ導いてくれる場を提供します。

岐阜大学の初期研修プログラムの特徴は、多様な研修医の方々のニーズに応じて自分で「最高のコース」を作り上げることができることです。自主性をもって研修に臨むことでモチベーションを持ち、有意義な研修が可能となります。さらに初期研修のうちから、将来の進路をめざし専門後期研修につながる研修を開始することもできます。今後展開される「新・専門医制度」の研修へのスムーズな連携が可能です。またコースによっては、県内各地域の病院との間で「たすき掛け研修」も可能です。将来様々な地域で活躍したいという希望をもつ方が、岐阜大学病院の研修を受けながら、初期研修時から地域医療を学びかつ病院との繋がりを持つことが、本プログラムの魅力です。将来、みなさんが理想とする医師をめざす上で、岐阜大学の卒後臨床研修プログラムは最適です。当院で生き活きと研修するみなさんに会える日を楽しみにしています。



医師育成推進センター長  
**清水 雅仁**

## 臨床実習・初期臨床研修支援部門長あいさつ

医師となって最初に行う初期臨床研修の2年間は、医師として最も大きく成長する重要な期間です。岐阜県で唯一の大学病院である岐阜大学医学部附属病院では、それぞれの研修医の希望を尊重するとともに、研修医個人のその時の能力に見合った研修ができるようきめ細やかな指導医体制とフィードバックシステムを構築しています。数多くの症例を経験することや技能を磨くことも大切ですが、初期臨床研修中は医療面接や身体診察を重視し、単に病名を想起したり取り敢えずの検査を一通り行ったりするのではなく、その病態をまず考えることから診断に必要な検査を選択し、その結果から適切に診断をして治療をしてゆく過程をしっかり研修して欲しいと思います。

医療は人と人との繋がりによって相互に補完・助け合いながら成り立っています。心が通う良好な医師・患者関係の構築は勿論ですが、医療スタッフとのコミュニケーション力や協調性もチーム医療を適切に行う上で欠かせないものです。基本的技能の習得に加え、こうした医師としての素養を身に付けることは最初の初期臨床研修が肝心で、それは生涯に亘って大切になるものです。教育にも実績のある多彩なスタッフが多数在籍し、岐阜県民から信頼されている当院で医師としてのキャリアをスタートして、将来は総合力のある人間性豊かな専門医を目指してもらいたいと思います。



臨床実習・初期臨床研修支援部門長  
**森田 浩之**

# 岐阜大学病院 プログラム

### プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制と岐阜大学に特徴的なセンター医療システムを活用している点が特筆に値する。柔軟な診療科選択や希望変更が可能であり、あらゆる研修ニーズに通年で応えられる。

### 臨床研修の目標の概要

必修科選択により先ずプライマリ・ケアに関する研修の到達目標をクリアし、導医評価とレポート評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、後期研修プログラムに前倒し的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から認定医・専門医の取得を目指した平行型の研修をプロトコールに従い実践する。

### コース紹介

- コース 1** 岐阜大学医学部附属病院  
2年一貫研修(原則)
- コース 2** 1年目岐阜大学医学部附属病院、  
2年目協力型臨床研修病院から選択
- コース 3** 1年目協力型臨床研修病院から選択、  
2年目岐阜大学医学部附属病院
- コース 4** 救急や外科に特化した外科系重点コース、  
急性期コースを用意

## コース 1 1年目・2年目とも本院で研修

1年目：研修ローテーション(岐阜大学医学部附属病院)

内科6ヶ月	救急3ヶ月	選択必修 1ヶ月	自由科目2ヶ月
-------	-------	-------------	---------

2年目：研修ローテーション(岐阜大学医学部附属病院)

地域医療 1ヶ月	自由科目11ヶ月
-------------	----------

### 研修医からのメッセージ

内科もしくは  
精神科希望 M先生

岐阜大学病院プログラムを選んだ理由として、まず研修スケジュールの変更が自由にできる点が挙げられます。将来希望する診療科が決まっていなくても、途中でスケジュールの変更ができますので、自分の学びたい診療科を中心に研修することも、オールラウンドに研修することも可能です。また様々な病院で研修することもできますので、コース1は魅力的に感じました。次に岐阜大学病院は先生方の数が多く、専門の先生から直接指導して頂ける点が挙げられます。カンファや抄読会でも先生方から高度な先進医療を学ぶことができますし、手技についてもいろいろと経験させて頂きました。日常的に専門の先生から先進医療を学べる点が、大学病院のメリットだと思います。以上の点から岐阜大学病院で研修することに決めました。今考えても、その選択は間違っていないと確信しております。

研修1年を終えて思うことは、毎日が日々学習であり、時が過ぎるのが早いということです。1年目は仕事を覚えることを中心に進めてきましたが、現段階で実力的にはまだまだです。2年目はもう少し積極的に研修を進めていきたいと考えております。

◆1年目ローテーション												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
第1内科		第3内科	総合内科	第2内科	総合内科			高次救命		小児科	精神科	
◆2年目ローテーション												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
放射線科	地域医療研修 (公立小児科/精神科)	精神科	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定

# 岐阜大学病院 プログラム

**コース 2** 1年目を大学病院で研修し、2年目は協力型臨床研修病院で研修を行う

1年目：研修ローテーション(岐阜大学医学部附属病院)

内科6ヶ月	救急3ヶ月	選択必修 1ヶ月	自由科目2ヶ月
-------	-------	-------------	---------

2年目：研修ローテーション(協力型臨床研修病院)

地域医療 1ヶ月	自由科目11ヶ月
-------------	----------

**コース 3** 1年目を協力型臨床研修病院で研修し、2年目は大学病院で研修を行う

1年目：研修ローテーション(協力型臨床研修病院)

内科6ヶ月	救急3ヶ月	選択必修 1ヶ月	自由科目2ヶ月
-------	-------	-------------	---------

2年目：研修ローテーション(岐阜大学医学部附属病院)

地域医療 1ヶ月	自由科目11ヶ月
-------------	----------

## 研修医からの メッセージ

産婦人科希望  
N先生

私は実家が岐阜で開業しており将来後を継ぐことを決めていたことと、教育に力を入れていたことから岐阜大学病院を研修先を選びました。  
研修1年目は手技を色々やらせてもらい、指導医の先生も熱心に教えてくださいました。どの他の科の先生でも疑問に対して丁寧に教えてくれて、学ぶ環境はかなり充実しています。  
コース2は、1年目が大学病院で2年目が市中病院です。私はまず大学病院で基礎を勉強し、その後に学んだことを市中病院での経験で身につけようと考え選びました。  
自分自身で将来どういう医師になりたいかをじっくり考え、先輩から情報を得て、その上で自分が納得する研修プログラムを選んでください。応援しています。

### ◆1年目ローテーション



### ◆2年目ローテーション(4月から岐阜県総合医療センターで研修)



## 研修医からの メッセージ

消化器内科志望  
M先生

私がつき掛けのプログラムを選んだ理由として大学病院と市中病院では研修内容が異なる特徴をもつと考えたからです。  
1年目の市中病院では多くの手技を経験するとともに、救急外来での夜間当直等で患者さんと向き合うことができました。  
2年目大学病院では1年目の経験に基づいて指導医の先生方の下で臨床的思考力やプレゼンテーションの力を高めていけるのではないかと期待しています。  
研修プログラムで色々迷うとは思いますが、岐阜大学研修プログラムは市中病院と大学病院の両者を経験できる良いプログラムだと思います。  
向上心を持って共に頑張りましょう。

### ◆1年目ローテーション(岐阜市民病院で研修)



### ◆2年目ローテーション(7月から岐阜大学病院)



○全てのプログラムにおいて、分野により、協力型病院、協力施設で研修を希望する場合は、岐阜大学病院研修が11ヶ月以上(協力病院での研修期間は最長12ヶ月)、協力施設での研修は原則3ヶ月以内とする。

備考：選択必須科目(外科系[第1外科、第2外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科]、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科・疼痛治療科)の中から0.5ヶ月単位で2科目を必須とする。

選択必須科目は到達目標を達成するまで延長可能。選択しなかった選択必須科目については、自由科目を使って到達目標を達成する。

各診療科プログラムでは協力型病院での短期研修を含む場合がある。コース1, コース4, 周産期プログラムに限り、臨床研修2年次からの大学院進学を認める。

\*コース2およびコース3のたすき先について、協力病院の受け入れ体制によって希望に添えない場合がある。

## TOPICS1 救急研修の改正について

- 救急研修は1年目に3ヶ月実施が原則ですが、最大2ヶ月間を2年目に履修することも可能になりました。
- 岐阜市民病院と連携し、高次救命において研修中、月に1~4日程度、日勤帯において岐阜市民病院でER研修を実施します。
- 救急研修の到達目標達成状況を考慮し、2年目の救急研修は協力病院での救急外来研修(ER研修)にかえることができます。

## TOPICS2 総合臨床教育研修について

平成28年度より、初期診断と初期治療の経験を少しでも多く積む目的で総合診療部において外来初診診療を研修医が担当します。

- 総合診療部を初診で受診した患者を対象とし、総合診療部指導医の指導のもと初診診療と初期治療を行い、必要に応じて専門診療科への紹介を行います。
- 研修医は当番として指定された日、ローテーションを行っている診療科での研修の合間に、総合診療部へ移動し、平日の午前中(9:00~12:00)の外来を原則月1回担当します。  
(それ以外の時間帯は研修中の診療科での研修となります)

# 岐阜大学病院 プログラム

## コース4 外科系重点コース 外科医を目指す特別コース

将来外科ないし外科系診療科を目指している、もしくは進路が未定ではあるが、外科系に興味を持つ研修医のニーズに適するコースである。研修ローテーションはコース1と同様になるが、2年目については将来選択する外科系診療科のプロデュースにより、後期研修につながるよう専門性の向上を図る。

### 外科系重点コースの特徴

外科系選択科目2科から開始できます（4ヶ月。1科に絞ってもよい）。  
2年目については特に研修を強化したい診療科のプロデュースのもと協力病院で研修を行うことが可能です。  
救急3ヶ月の中で1ヶ月間はICU研修ができます。  
診療科の指導のもと、協力病院の研修期間を長く設定可能（複数病院でも）です。

### 研修例

#### 1年目：研修ローテーション

外科系診療科1 2ヶ月	外科系診療科2 2ヶ月	内科 6ヶ月	麻酔科 1ヶ月	救急 1ヶ月
----------------	----------------	-----------	------------	-----------

#### 2年目：研修ローテーション（協力病院研修を地域研修対象病院と重複できる可能性もあり）

地域医療 1ヶ月	救急 2ヶ月	協力病院での外科系研修 3ヶ月	当院での外科系研修 3ヶ月	自由科目3ヶ月
-------------	-----------	--------------------	------------------	---------

- 外科系重点コースでは年に数回実施される内視鏡外科手術トレーニングセンター主催の研修に参加可能。

### 外科系研修科とは

心血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科・疼痛治療科です。

### 協力病院での研修

各診療科での関連病院から各診療科指導医が2年次の短期間研修病院を選択します。（プライマリ・ケアや関連病院で頻度の高い手術症例を経験します）

### 研修医からのメッセージ

外科系志望 Y 先生

私が大学病院を選んだのは、まず、多くの指導医から学ぶことでしっかりとした思考の土台を築きたいと考えたからです。また、スケジュールの自由度が高く、志望科を重点的に選択できることも魅力的で、外科系重点コースで最初に志望科を回れたことは将来像を考える上で大変有意義でした。実際に1年目を終えてみて、やはり多くの指導医から丁寧に指導いただけました。手技が少ないのではという心配も、数多く学べ、杞憂であったと感じています。充実した1年間でした。漠然と外科志望という人や、マイナー外科志望の人も思い切って是非外科コースを。手術室でお会いしましょう。

#### ◆1年目ローテーション

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
第2外科		皮膚科		耳鼻科 (市産)		第1内科	第2内科	第3内科	麻酔科 疼痛治療科	神経内科	高次救命

#### ◆2年目ローテーション

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
高次救命	精神科	総合内科	一宮市立 市民病院	未定	地域医療研修 下呂通泉病院 皮膚科	未定	未定	未定	未定	未定	未定

## コース4 急性期コース 急性期医療を得意とする医師を育成するコース

※研修ローテーションはコース1と同様になります。

高次救命治療センターがプロデュースするコースです。外科系、内科系に進むとしても急性期を学ぶ医師のためのコースです。下記のスケジュールは一例です。最終的には相談して決定します。

神経内科・老年内科 2ヶ月	消化器内科・感染症内科 / 血液内科 2ヶ月	CCU (循環器の集中部門) 2ヶ月	腫瘍外科・消化器外科 3ヶ月	麻酔科・ 疼痛治療科 1ヶ月	高次救命 2ヶ月
------------------	------------------------------	--------------------------	-------------------	----------------------	-------------

ER 一宮市立 市民病院 1ヶ月	精神科 1ヶ月	CCU 1ヶ月	胸部・心臓 血管外科 岐阜市民病院 1ヶ月	高次救命 1ヶ月	消化器外科 1ヶ月	ER 聖路加国際病院 1ヶ月	外科、小児科、整形外科、脳神経外科、産婦人科 高山赤十字病院(地域医療1ヶ月*含む) 5ヶ月
---------------------------	------------	------------	--------------------------------	-------------	--------------	----------------------	--

### 研修医からのメッセージ

平成25年度採用  
山路 文範 先生

(現在 高次救命治療センター在籍)

幼い頃あるドラマを観て以来、救急専門医を目指した僕が研修病院を決めるにあたって、様々な病院を見学した中で、岐阜大学病院の急性期コースを選びました。

岐阜大学病院は、救急医療の質、人員を見ても、本当に全国トップクラスであり、将来がつつり三次救急に身を置きたい僕としては、出身大学は違えど地元こんな素晴らしい高次救命救急センターがあることは大きな要因となりました。一宮市民病院や聖路加国際病院での救急研修に加え、岐阜大学での3次救急を研修医のうちに経験できるということは、本当に贅沢なことだと思います。大学での救急研修で、がんばれば2年目でドクターヘリコプターに乗れるということも、僕の心を大きく震わせました。急性期コースは、1年目は主に大学にいて、2年目は救急部の先生と相談し、主に外の病院を転々として。僕の場合は救急のなかでも外傷外科医を目指しており、外科系を中心に4病院行きました。研修医のうちに様々な病院で研修できるのは本当に魅力的です。文章だけでは魅力を伝えることは全くできないので、急性期コースにでもドクヘリにでも興味がある方は是非一度見学においでください。最大級のおもてなしでお迎えます。

## TOPICS3 ドクターヘリコプター

2011年2月9日、岐阜大学医学部附属病院が基地病院となり岐阜県ドクターヘリコプターの運航が始まりました。

現在は、年間500件の要請があり、山間部が多く県土の広い岐阜県においてドクターヘリの運航は地域医療に大きく貢献しています。

岐阜大学医学部附属病院は県内唯一の高度救命救急センターとして専従医が国内最大規模であり、ドクターヘリの研修医同乗実習も取り入れております。

岐阜県ドクターヘリは最も大きな機体BK117-C-2型という国産ヘリコプターで活動しています。この機体を採用した理由は操縦士・整備士を含め最大搭乗員数が7名と最も多く、この機体を採用することにより機内の医療機器や通信機器の充実はもとより、研修医のドクターヘリ同乗実習が可能になります。

もちろん、希望者のみが行う研修医同乗実習においてもフライトドクターと同じ安全研修を受けフライトスーツを着用し本番通りの研修を受けることができるのも特徴の一つといえます。常に現場で指導医とマンツーマンの指導を受けながらの緊張感ある研修は他では味わえません。原則として2年目の救命センター研修においては指導医の指示のもと現場救急を経験することができ、これは、当大学病院の救急研修の大きな特徴です。



# 岐阜大学病院地域連携 プログラム

## プログラムの特徴

東濃地区や飛騨地区出身の地域枠学生に推奨するプログラムである。  
東濃地区や飛騨地区の研修病院と岐阜大学病院とのたすき掛け研修を可能としたプログラムである。東濃地区（岐阜県立多治見病院・土岐市立総合病院・中津川市民病院・東濃厚生病院）、飛騨地区（久美愛厚生病院）の5つの協力型病院と新たに連携した、プライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制とセンター医療システムを活用している点に特色がある。

## 臨床研修の目標の概要

出身地区の研修病院とのつながりを早期につくり地域医療を学ぶこと、地域病院と岐阜大学との協力により行う後期研修、専門医研修につながる初期研修とする。

## 地域連携プログラム

1年目：研修ローテーション

内科6ヶ月	救急3ヶ月	選択必修 1ヶ月	自由科目2ヶ月
-------	-------	-------------	---------

2年目：研修ローテーション

地域医療 1ヶ月	自由科目11ヶ月
-------------	----------

※1年間は上記5病院の中から希望の協力病院で研修し、残りの1年間大学病院での研修とする。希望により協力病院と大学病院のどちらの研修を先に行うかを選択することが可能である。

## 連携先での研修について

岐阜県立多治見病院・土岐市立総合病院・中津川市民病院・東濃厚生病院・久美愛厚生病院の中から選択する。またたすき掛け協力病院が連携する協力病院・施設での研修も可能である。

# 岐阜大学病院周産期 プログラム

## プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制とセンター医療システムを活用している点に特色がある。一般研修に加えて、周産期ケアができる小児科医、新生児ケアができる産科医の育成を目指す。

## 臨床研修の目標の概要

周産期に特化しているが、プライマリ・ケアに関する研修到達目標を先ずクリアすることを条件とする。  
次いで、地域医療も含ました幅広い周産期と新生児期ケアを中心とした研修を行い、関連病院への派遣研修も含んだNICU研修を実践する。

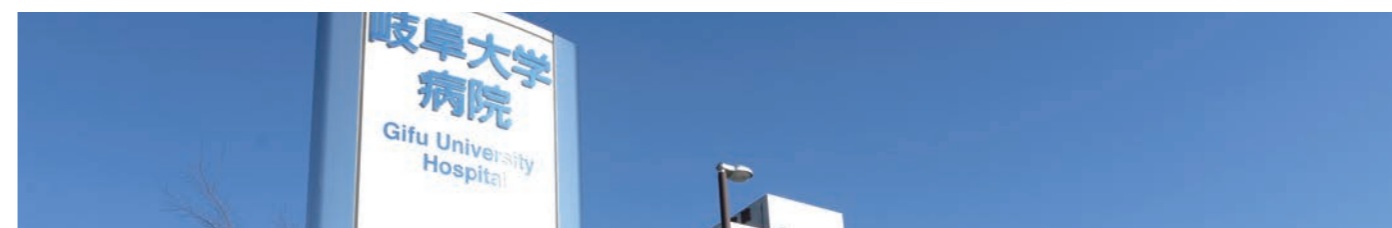
## 周産期プログラム

1年目：研修ローテーション

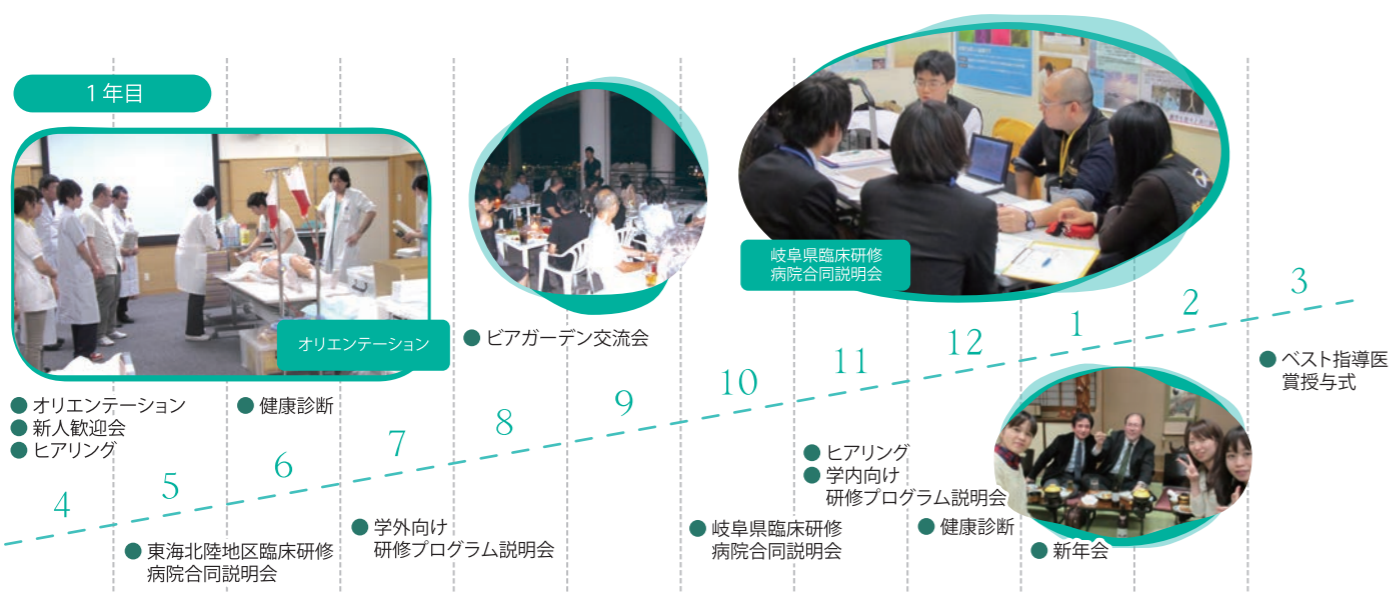
内科6ヶ月	救急3ヶ月	選択必修 1ヶ月	自由科目2ヶ月
-------	-------	-------------	---------

2年目：研修ローテーション

地域医療 1ヶ月	周産期3ヶ月	小児科 1ヶ月	産婦人科 1ヶ月	自由科目6ヶ月
-------------	--------	------------	-------------	---------



## TOPICS4 研修2年間の流れ(センター関連分)



他：緩和ケア講習会、ACLS講習会、CPC（臨床病理検討会）、内視鏡トレーニングセンターでの手術手技のトレーニングセミナーなど後、毎月研修医セミナーと研修医のための救急症例検討会開催

# 岐阜大学病院初期研修協力病院・施設紹介

<b>岐阜市</b> 岐阜県総合医療センター 岐阜市民病院 朝日大学歯学部附属村上記念病院 国立病院機構長良医療センター 岐阜赤十字病院 山内ホスピタル、岩砂病院・岩砂マタニティ 一般社団法人ぎふ総合健診センター 岐阜県赤十字血液センター、岐阜市保健所 山田病院 岐阜ハートセンター	<b>山県市</b> 岐阜北厚生病院
<b>各務原市</b> 東海中央病院、岐阜県岐阜保健所	<b>岐南町</b> 総合在宅医療クリニック
	<b>笠松町</b> 松波総合病院
	<b>羽島市</b> 羽島市民病院

<b>揖斐川町</b> 揖斐厚生病院 揖斐郡北西部地域医療センター	<b>大垣市</b> 大垣市民病院 大垣徳洲会病院 岐阜県西濃保健所
<b>関ヶ原町</b> 国民健康保険関ヶ原病院	<b>養老町</b> 西美濃厚生病院



<b>岩手県</b> 岩手県立磐井病院 岩手県立千厩病院	<b>滋賀県</b> 彦根市立病院
<b>福井県</b> 杉田玄白記念公立小浜病院	<b>愛知県</b> 一宮市立市民病院 総合大雄会病院、大雄会第一病院 犬山中央病院 がんセンター中央病院 国立病院機構豊橋医療センター

<b>郡上市</b> 郡上市民病院、鷺見病院 郡上市地域医療センター国保和良診療所 慈恵中央病院	<b>美濃市</b> 美濃市立美濃病院 滝谷医療、てらしまクリニック
<b>東白川村</b> 東白川村国保診療所	<b>美濃加茂市</b> 木沢記念病院、太田病院 岐阜県中濃保健所
<b>関市</b> 中濃厚生病院、関中央病院 岐阜県関保健所	

<b>恵那市</b> 市立恵那病院 岐阜県恵那保健所 国民健康保険上矢作病院	<b>多治見市</b> 岐阜県東濃保健所 岐阜県立多治見病院
<b>中津川市</b> 国民健康保険坂下病院 中津川市民病院	<b>瑞浪市</b> 東濃厚生病院
	<b>土岐市</b> 土岐市立総合病院

<b>飛騨市</b> 国民健康保険飛騨市民病院	<b>高山市</b> 高山赤十字病院、久美愛厚生病院 岐阜県飛騨保健所、久々野診療所 荘川診療所、清見診療所 朝日診療所 丹生川診療所
<b>下呂市</b> 下呂温泉病院、下呂市立金山病院 下呂市立小坂診療所	

選択できる病院・施設が多いので、それぞれの病院の長所を活かした研修ができ幅広い知識と技能を身につけることができます。

## 協力型研修病院 (※)地域医療医学センターで地域医療研修が可能な施設

	H26年度実績(人)	H27年度実績(人)	内科	救急	外科	麻酔科	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択科目
岐阜県総合医療センター(3)	4	5	○	○	○	○	○	×	○	×	○
岐阜市民病院	11	8	○	○	○	○	○	○	○	×	○
社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院(2)	4	5	○	○	○	○	○	×	○	×	○
地方独立行政法人岐阜県立多治見病院			○	○	○	○	○	○	○	×	○
土岐市立総合病院(1~2)			○	○	○	×	○	×	×	×	○
高山赤十字病院(1~2)	5	3	○	○	○	×	○	×	○	(※)	○
総合病院中津川市民病院(2)			○	○	○	×	○	×	○	○	○
岐阜赤十字病院(1)	1	1	○	○	○	○	×	×	×	×	○
岐阜県厚生農業協同組合連合会久美愛厚生病院(1)			○	○	○	×	×	×	×	(※)	○
社会医療法人厚生会木沢記念病院(2)	1	1	○	○	○	○	○	×	○	×	○
岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院(10)	2	2	○	○	○	○	○	×	○	×	○
岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃厚生病院(2)			○	○	○	×	×	×	×	×	整形のみ
羽島市民病院(4)	1		○	○	○	×	○	×	×	×	○
岐阜県厚生農業協同組合連合会揖斐厚生病院(4)	3	5	○	○	○	×	○	×	×	○	○
総合大雄会病院(2)			○	○	○	○	○	×	○	×	○
独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター(2)			○	○	○	○	○	×	×	×	○
彦根市立病院(4)			○	○	×	○	○	×	×	×	○
杉田玄白記念公立小浜病院(3)	1		○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県立下呂温泉病院(要相談)	5	4	×	×	×	×	×	×	×	(※)	○
大垣市民病院			×	○	×	×	×	×	×	×	×
公立学校共済組合東海中央病院		1	○	○	○	×	○	×	○	×	○
愛知県がんセンター中央病院			○	×	○	×	×	×	×	×	○
大雄会第一病院			×	×	×	×	×	×	○	×	○
一宮市立市民病院	9	8	×	○	×	×	×	×	×	×	×
医療法人社団志聖会犬山中央病院			○	×	○	×	×	×	×	○	×
岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜北厚生病院			○	×	○	×	×	×	×	○	×
朝日大学歯学部附属村上記念病院	1	1	○	×	○	×	×	×	×	×	×
国民健康保険関ヶ原病院	1		○	×	○	×	×	×	×	(※)	×
医療法人香徳会関中央病院			○	×	○	×	×	×	×	○	×
独立行政法人国立病院機構長良医療センター	1	1	×	×	×	×	○	×	○	○	×
郡上市民病院		1	○	○	○	×	○	×	○	(※)	○
岐阜県厚生農業協同組合連合会西美濃厚生病院			○	×	○	×	×	×	×	(※)	○
美濃市立美濃病院	1		○	×	○	×	×	×	×	(※)	整形のみ
医療法人徳洲会大垣徳洲会病院			○	○	○	×	×	×	○	×	○
医療法人 春陽会 慈恵中央病院			×	×	×	×	×	○	×	×	×

## 協力施設 (※)地域医療医学センターで地域医療研修が可能な施設

地域医療: 必修	(H27年度実績(人))	地域保健: 選択
社団医療法人かなめ会山内ホスピタル 特定医療法人社団白鳳会鷺見病院 (※) 特定医療法人録三会太田病院(1) 郡上市地域医療センター国保和良診療所(1) 市立恵那病院 (※) 国民健康保険上矢作病院 国民健康保険坂下病院 下呂市立金山病院 (※)(1) 国民健康保険飛騨市民病院 (※) 岩砂病院・岩砂マタニティ(産科研修の協力施設) 総合在宅医療クリニック 揖斐郡北西部地域医療センター(1) 岐阜ハートセンター(内科・外科の協力施設)	岩手県立磐井病院 岩手県立千厩病院(2) 滝谷医院 てらしまクリニック 下呂市立小坂診療所 東白川村国保診療所 久々野診療所 荘川診療所 清見診療所 朝日診療所 丹生川診療所 医療法人和光会山田病院	一般社団法人ぎふ総合健診センター 岐阜県赤十字血液センター 岐阜市保健所 岐阜県飛騨保健所 岐阜県岐阜保健所 岐阜県関保健所 岐阜県中濃保健所 岐阜県恵那保健所 岐阜県東濃保健所 岐阜県西濃保健所

# 研修教育環境

## 手技、知識の習得をサポートする体制

岐阜大学医学部附属病院及び医師育成推進センターでは、みなさんが、日頃の研修生活のなかで、基本的知識の整理ができないままローテーションを過ごしていくことのないように、勉強会や検討会を開催しております。



### オリエンテーション(4月)

医師としての基本的自覚・態度を身につけるとともに、本院内での医療業務の現状を学ぶ一般研修と、技術研修(採血、ルート確保などの基本処置、電子カルテ操作、BLS講習会など)で計5日間。  
※後日、ACLSも受講できます(費用はセンター負担)

### 研修医セミナー(平成27年度センター主催分)

回数	開催日	題目	担当診療科等
第1回	H27.4.20(月)	画像Deクイズ	総合内科
第2回	H27.5.11(月)	中心静脈穿刺およびカテーテル留置について	麻酔科
第3回	H27.6.11(木)	縫合・結紮の基本を学ぼう!!	第一外科
第4回	H27.7.23(木)	細菌感染症の診断と治療について	生体支援センター
第5回	H27.8.24(月)	データ分析に必要なグラフの作成について	岐阜薬科大学グローバル・レギュラトリー・サイエンス
第6回	H27.9.17(木)	日常診療でよく遭遇する不整脈	医師育成推進センター
第7回	H27.10.8(木)	副腎皮質ステロイド薬の種類と使い分け、副作用について	第三内科
第8回	H27.11.19(木)	救急外来で出会う神経症状	神経内科・老年内科
第9回	H27.12.21(月)	腹部エコーセミナー	三重大学病院消化管外科
第10回	H28.1.28(木)	精神科救急ベーシック	精神科
第11回	H28.2.22(月)	実践的でシンプルな「今晚からできる」喘息対応 診断・治療法と治療薬の理解・発作時対応について	第二内科
第12回	H28.3.17(木)	大学病院における慢性期血液浄化療法について	高次救命治療センター

※他、各診療科ごとのセミナーがあります。

### 研修医のための救急症例検討会

回数	開催日	症例内容
第1回	H27.5.14(木)	熱発・悪寒を主訴とする68歳男性の一例
第2回	H27.6.4(木)	心窩部痛、嘔吐を主訴とした患者の診察
第3回	H27.7.2(木)	一過性右不全片麻痺、構音障害を来した60歳代男性
第4回	H27.8.6(木)	救急外来診察で是非知っておきたい精神疾患 悪心を伴う心窩部痛を来した27歳女性
第5回	H27.9.3(木)	救急診療で知っておきたい皮膚疾患 左耳の聴力低下を主訴とする71歳男性
第6回	H27.10.1(木)	救急外来で知っておきたい内分泌代謝疾患 緊急手術となった腹部大動脈瘤破裂
第7回	H27.11.12(火)	救急診療で知っておきたい腹部CTの読影 熱傷、外傷の初期対応と治療
第8回	H27.12.10(木)	Clinical scenarioを用いた急性心不全の初期対応 非典型的な主訴で救外にいられた腸閉塞患者の一例
第9回	H28.1.14(木)	インフルエンザの診方、考え方 冬季に下痢、嘔吐を主訴に救急外来を受診した50代女性
第10回	H28.2.4(木)	耳鼻科の救急疾患 若年女性の腹痛
第11回	H28.3.3(木)	救急外来で出会う皮膚疾患 walk inで SpO2 60%

みなさんこんにちは。医師育成推進センターの大江直行です。専門は脳神経外科で、私がかつて岐阜大学医学部附属病院、岐阜県立岐阜病院(現岐阜県総合医療センター)で初期研修を行い、その後に脳神経外科の専門医・指導医となりました。みなさんはこれから初期研修を行うわけですが、まず初期研修を受けるにあたって大切なことはしっかりと指導医のもとで研修を受けることです。その点、岐阜大学医学部附属病院は指導医の質、数ともに岐阜県下随一の研修病院です。また将来、それぞれの道で専門医を目指す場合も岐阜大学医学部附属病院での研修は専門医取得の近道になるものと考えます。医師育成推進センターでは、みなさんの研修が希望通り行えるよう研修スケジュールの相談に応じたり、研修が充実したものとなるよう救急症例検討会、研修医セミナーを開催しています。我々医師育成推進センタースタッフはみなさんが安心して充実した初期研修を送り立派な医師になれるよう全面的にバックアップします。是非、我々と一緒に働きましょう。



医師育成推進センター  
副センター長  
脳神経外科  
大江 直行 先生

### センター教員からのひとこと

2012年度より当センターの専任教員となりました。主に、毎月の研修医セミナーを企画しています。できるだけシミュレータを使用した実技セミナーを心がけており、テーマは研修医からの希望(セミナー時にアンケートを実施)を参考に決定しています。また随時、心電図カンファレンスや使用期限の切れたカテーテル類を使用して、シミュレーショントレーニングを行っています。また、私のデスクが研修医室の隣にあることもあり、「研修医に最も近い指導医」でありたいと考えています。日常の悩み事相談から、健康相談、将来の進路相談まで、あらゆる相談を受け付けています!!  
2014年にカナダのマギル大学医学部附属病院の臨床医学教育を一週間にわたり視察する機会があり、学生-研修医-フェロー-指導医を中心とする卒前・卒後の一貫した医学教育に大変感銘を受けました。今後も岐阜大学病院の臨床医学教育をより良いものにするため、少しでも貢献できたらと考えています。



医師育成推進センター  
専任教員  
循環器内科  
高杉 信寛 先生

### 救急外来研修 研修医や学生より要望の高かった、救急外来研修をスタートしました。

#### 岐阜大学病院救急外来研修の特徴は…

- 1] ファーストタッチから救急外来の域を越えて、専門領域の診療科のところまで研修。
- 2] 研修医は2名体制の屋根瓦方式。  
(救急研修を修了した先生が必ず1名いることを原則とする・高次救命治療センターの医師が現場で指導)
- 3] 救急外来研修はウォークイン患者の多い、土日祝の日当直が中心。
- 4] 岐阜市民病院と連携。日勤帯においてER研修を実施しています。(救急研修中のみ)



当院は全国でも数少ない高度救命救急センターを持つ大学病院で、救急外来の役割の多くは、重症患者さんの対応となります。しかし、特に土日などの週末や祝日には、かかりつけの患者さんやその家族、直接時間外の外来を受診する方(walk in)も、少なくありません。これらの患者さんは、軽症であっても、様々な診療科領域の病態であるために、その専門診療科(当該診療科)に依頼するまでに、色々と学ぶことができます。1年目・2年目の研修医が高次救命治療センターの医師及び院内全科の医師のバック・アップの下で、積極的に診療にかかわることが可能です。また、その後に各種のカンファレンス等でフィードバックを行っています。

高次救命治療センター副センター長  
豊田 泉



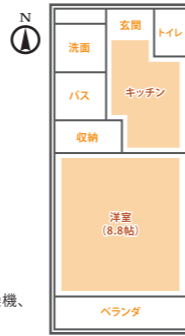


## サポート環境 研修生活をサポートする施設・設備

平成28年3月に 研修医専用宿舎 病院近隣に完成!!



**■設備**  
24時間緊急対応、BSアンテナ、CSアンテナ、クローゼット、カメラ付きインターホン、ガスコンロ、エアコン、照明器具、洗髪洗面化粧台、シャワー付きトイレ、浴室換気乾燥機、駐車場、ミニキッチン、室内洗濯機置場、窓シャッター、シャワー、ベランダ、ディンプルキー、ガス：LPG、排水：下水道



### カフェ



### コンビニ



### 職員用ラウンジ



平成26年11月 開設 24時間利用可能。飲み物の提供やマッサージチェア等があります。

- **図書室**  
医学部図書館(病院隣接)や、岐阜大学総合図書館が利用できます。
- **生協**  
病院隣接の生協(医学部店)では、各種医学書(邦洋書)がお取り寄せできます。また、帰省・旅行チケットも同店で購入できます。
- **郵便局・ATM**  
病院内に、郵便局(病院1F南入り口)とATM(十六銀行・大垣共立銀行・岐阜信用金庫、病院1F中央階段裏)があります。
- **売店・喫茶・理美容室・レストラン**  
病院内には、食堂(病院隣接1F)、レストラン・売店・理美容室(共に病院2F病棟行エレベーター周辺)があります。
- **大学構内にある、スポーツジム・トレーニング室とプールの利用が可能**



### 岐阜大学医学部・同附属病院女性医師就労支援の会

女性医師のキャリア形成支援を目的に女性医師就労支援の会が2009年10月に発足。地域医療医学センター(7N14)内に相談室を設置し、2名の女性医師が個別の相談に随時対応。

HP <https://hosp.gifu-u.ac.jp/joseiishi/>

## 医師育成推進センター 平成25年3月完成(岐阜大学医学部附属病院 北診療棟 3F)

**男子研修医更衣室**  
仮眠用のベッドです。

**女子研修医更衣室**  
各更衣室の奥に仮眠室を用意しています。

**シャワー室**  
24時間365日利用可能。もちろん男女別です。

**主な設備**  
研修医室内には個人の机、PC、電子カルテ、更衣室、仮眠室、洗面台、個人ロッカー、学内便BOX、空気清浄機、湯沸室、ラウンジ。インターネット利用の文献検索(UpToDate)、手技検索(ProceduresCONSULT)可能。今後CVシミュレータ(常時使用可)設置予定。シャワー室(男女別)同フロアに完備。

**研修医室**  
移転前よりも広く明るくなりました。机もゆったりと配置しています。絨毯を敷き詰めていますので音も響きません。

## 専門医取得までのサポート体制 あなたは10年後にどんな医師になりたいですか?

### 専門医研修 支援部門長 あいさつ

岩田 尚 先生

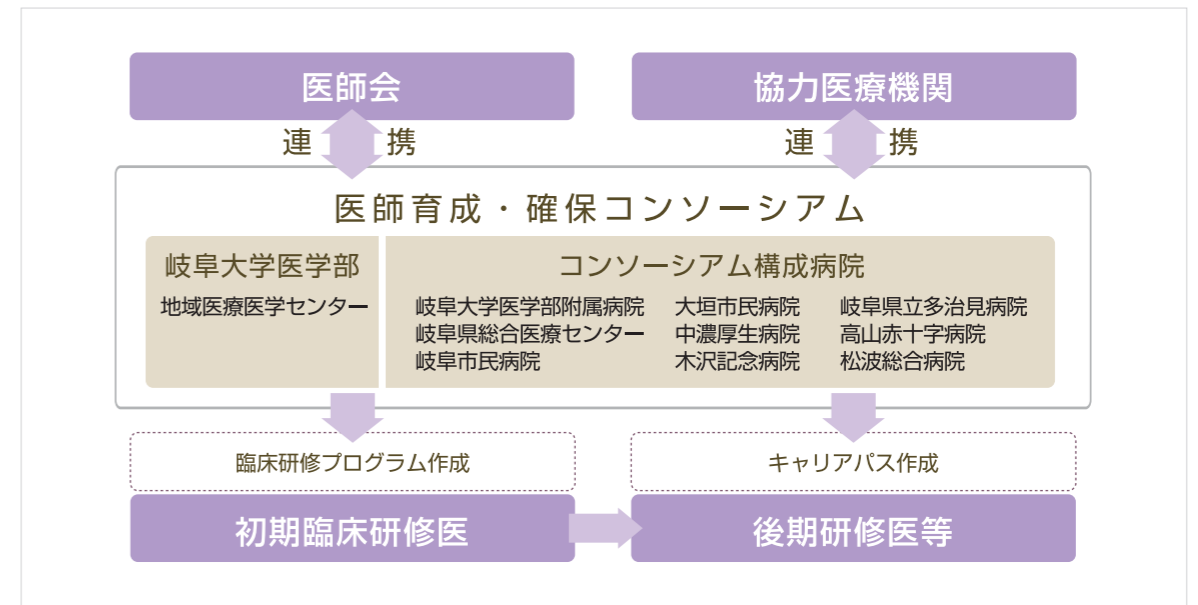


今年初期臨床研修を開始する研修医を対象に、2017年より日本専門医機構による新しい専門医制度が開始されます。現在の学会による専門医認定から第三者機関である専門医機構により専門医が認定されることになります。当大学病院では、各診療科主導により19の基本領域の専門医はもちろんのこと、基本領域の専門医取得後に目指すsubspecialty専門医の研修プログラムが整備されつつあり、岐阜県の専門医育成の中核となる施設です。従いまして当部門では、専門医を志す若手医師にわかりやすいように、どの診療科がどのような専門医研修プログラムを準備しているかをお知らせする役割を担っています。希望される専門医に関して診療科のプログラム担当者と適切に情報交換ができるように橋渡しします。お気軽にアクセス頂ければ、先生方の今後のキャリアパスについて親身にご相談に乗れるかと思っておりますので、よろしくご活用いただければ幸いです。

## 岐阜県医師育成・確保コンソーシアムについて

岐阜大学医学部と県内9構成(=幹事)病院が中心となり、医師育成を通じた地域医療の確保を目指して結成された協議会です。コンソーシアムでは、県内の医療機関での臨床研修と、その後のキャリアアッププログラムを提供し、医師が安心して自分自身の成長を実感できるような医療現場となるよう、施設間での調整を行っています。

HP [http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr\\_conso/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr_conso/)



※現在の各診療科等のプログラムについては、医師育成推進センターHPから、専門研修プログラムを参照。

## ■記載例

診療科名  研修責任者  
研修責任者より一言

**我が科のOnly one**  
研修の特徴



○ホームページで各診療科の詳細な情報がご覧になれます。  
QRコードが読み込めない場合は、下記のURLに直接アクセスしてください。

HP <https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/shoki/program/shinryo/index.html>

## 内科部門

### 第一内科

消化器内科、血液・感染症内科



講師・医局長 / 白木 亮

専門分野に関わらず、患者さんという一人の人間を診るという姿勢を忘れず、生涯を通して反省と努力を続けることができる臨床医を目指します。

### 全身を診ることができる専門医を養成

まずは、内科医として全身を診ることを学び、その上で、消化器、血液、感染症、臨床腫瘍などの専門領域が学べます。特に、消化器内視鏡や血管造影などを中心とする検査・治療技術や、がん化学療法・造血幹細胞移植術の専門医としての技術の習得、臓器横断的な栄養管理法や感染症対策の習得などには充実した環境が用意されています。将来的には、最先端医療を目指す専門医から、地域医療を担う一般臨床医、あるいは家庭医まで、希望に応じた幅広い研修が可能です。



### 第二内科

循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科



臨床教授・医局長 / 西垣 和彦

生涯に渡って必要な一般的な手技や医学知識だけでなく、医師として何が大切で何をすべきかが分かり、社会に貢献できる医師になれるよう全力を挙げて指導します。

### 一般臨床から高度医療まで、守備範囲の広い医療を実践

循環・呼吸・腎臓内科では、刻々と変化する病態をダイナミックに診断・治療することができ、急性疾患の多くを網羅しています。一方で、虚血性心疾患や高血圧症を生活習慣病としてとらえ、糖尿病、動脈硬化疾患、腎不全の予防について内科全般とも関連し、検査や治療にじっくり取り組んでいけることでも大変やりがいのある分野であるといえます。概してこの分野は、診察から検査、診断、治療にいたるまで一貫性を持って患者と関わることができます。循環器、呼吸器、腎臓、救急医療といった、内科の中でも中心的な分野であるため、医者としての総合的な力が得られます。このため、最初は循環器内科医を目指していても、その後呼吸器内科医や腎臓病内科医に転向することや、その逆も容易です。チーム医療が多いため、おのずからコメディカルも含めた連帯感は強く、厳しさの中にも家族的な雰囲気があります。



### 第三内科

糖尿病代謝内科、免疫・内分泌内科



准教授・医局長 / 諏訪 哲也

糖尿病患者の血糖コントロールから稀な疾患の診断治療まで幅広く研修可能です。

### 真のオーダーメイド医療を実現する

当科で経験する症例の多くは、今や国民病と言ってもよい糖尿病です。日本人の糖尿病はほとんどが2型糖尿病と呼ばれるインスリン注射療法を必ずしも要しない糖尿病ですが、個々の患者において、症状、進行度、合併症の程度は千差万別です。適切な診療には、糖尿病専門医による詳細な病態の理解と多様な治療法についての深い知識が必要です。かつその実施・継続には、看護師、薬剤師、管理栄養士などのコメディカルスタッフとの緊密なチーム医療が不可欠となります。研修医はチームの一員としての積極性が求められますが、その結果、プレゼンテーション能力など内科臨床に必要な基礎を包括的に身につけることができます。一方で内分泌疾患や膠原病など大病院ならではの症例も担当します。稀な全身性疾患の一見複雑を極める病態を総合プロブレム方式を用いて整理・解析します。より正確な診断からそれに基づくエビデンスレベルの高い治療への過程を体感できるでしょう。



## 内科部門

### 神経内科 老年内科



准教授・医局長 / 木村 暁夫

研修医の皆さんが将来の進路に関らず、必ず必要とする神経疾患に関する知識・技術を学べるよう研修プログラムを策定しております。特に神経学的所見のとり方が習得できる機会は貴重です。



### 神経内科—高い専門性と社会貢献

神経内科・老年内科が対象とする疾患は免疫性神経疾患、神経感染症、神経変性疾患、てんかん、機能的頭痛、脳血管障害など多岐にわたります。当科は、県内では数少ない日本神経学会教育施設であり、指導医の数が最も多く、神経救急も多いことが特徴です。研修内容としては、入院患者の担当医となり病棟業務に従事します。3人一組のチームの一員として、指導医のもと神経学的所見のとり方、所見に基づく障害部位診断、鑑別疾患と診断に至るまでのアプローチ法、治療方法を学び実践します。カンファレンスでは担当患者の症例提示や経過報告を行うことによりプレゼンテーションの技術を習得します。担当患者のサマリーは、日本内科学会認定内科医申請にあたり必要な病歴要約の基準を満たすものです。検査に関しては受け持ち患者の髄液検査、筋電図検査を行い、神経生検や筋生検にも参加します。また脳波や頭部・脊髄MRI検査の読影を学ぶことが可能です。外来では予診を担当し、新患の診察に立ち会います。

### 総合内科

総合診療部



臨床講師・病棟医長 / 山内 雅裕

様々な訴えを持った患者の全体像を把握しながら、病態を把握し、診断する全人的な医療が提供できる病院総合診療医を目標としています。



### 考える内科医に

当科では生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症)を中心としたcommon disease、不明熱、リウマチ・膠原病の診療を担当しています。外来診療ではこれらの疾患を問診、身体所見、検査所見から考え、正確な診断を実践できる事が必要です。また入院診療に関しても、病棟カンファレンスを通じて、総合内科専門医の指導のもと、日本内科学会認定医取得に必要な症例を経験できます。具体的には、膠原病疾患に対するステロイド治療による糖尿病発症の治療(インスリン治療)を通じて、膠原病と糖尿病の治療を同時に学ぶ事が出来ます。一方、種々の腹痛、食欲不振を訴える患者に対する診断法としての上・下部消化管内視鏡検査を教育実践しています。専門性を持った病院総合診療医(内科医)の育成をめざした幅広い研修を用意しています。

### CCU



准教授 / 牛越 博昭

初期研修での経験は医師として“一生の宝”となります。何科に進んでも役立つ医師としての総合力を伝授します。ぜひ学びに来て下さい。



### 循環器救急疾患の初期対応をマスターして集中管理を学ぼう!

高次救命治療センターの一部門として、重症循環器疾患(急性心筋梗塞、急性心不全、急性大動脈解離、肺血栓塞栓症、心肺蘇生後等)を主に扱います。スタッフは循環器専門医、救急科専門医が24時間体制で常駐し、ERでの循環器疾患の初期対応から、集中治療室での循環管理の方法を学ぶことができます。心電図判読、心臓超音波の判読及び手技、カテーテル(中心静脈、観血的動脈圧ライン肺動脈(スワンガンツ)等)留置といった手技も多く経験ができます。IABP、PCPSといった、普段はあまり経験できない循環補助デバイスの管理方法を学べるチャンスもあります。その他、心肺停止後の低体温療法の管理方法や、心臓カテーテル治療の現場も間近で体験することができます。当院は岐阜県ドクターヘリの基地病院であり、希望者は2年目以降、ドクターヘリ搭乗実習による病院前救護の現地研修をフライトドクター指導のもと行う事が可能です。

高次救命治療センター



教授・センター長 / 小倉 真治  
将来いずれの診療科を志望しても、最低限でなければならない知識・技能の経験を豊富にできます。

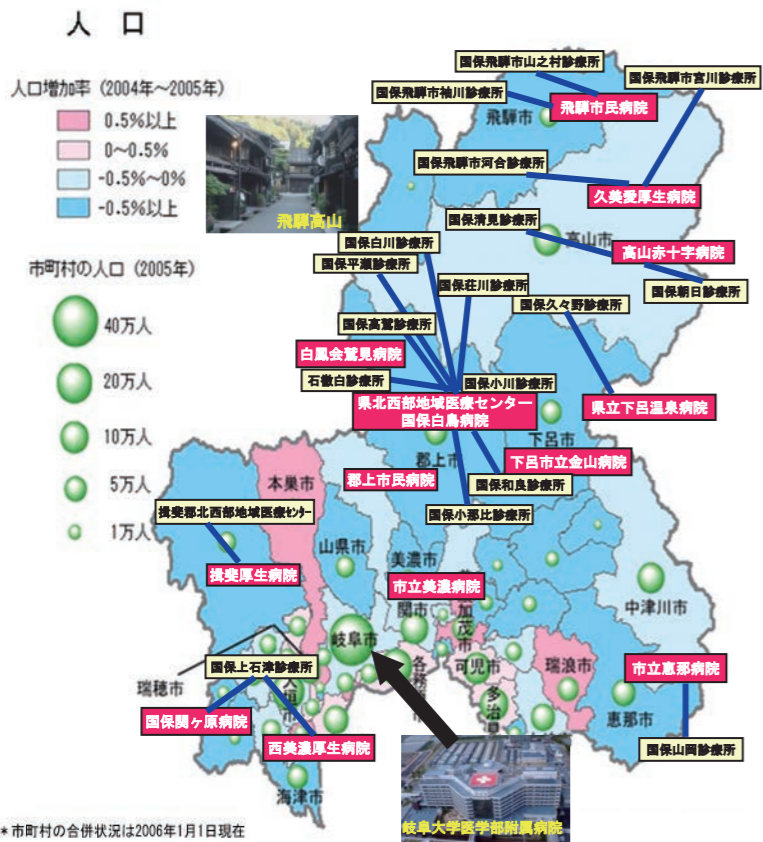


**救急医療の頂点はこちらにある**  
中部地方随一の高度救命救急センターです。救急指導医5名・救急専門医15名が在籍し、3次救急医療機関として、特に外傷、心疾患、脳疾患、中毒関連、重症感染症、代謝関連の内科系重症疾患、産婦人科関連、小児関連などへの迅速な対応を行っております。当センターはドクターヘリ、ERから始まり、集中治療に至るまで、本邦の最高水準の医療を行っており、将来いずれの診療科を選択していただくにおいても必要十分な経験をさせていただけると考えます。(※産科系の出血でも国内最高の実績があります。)概ね3ヶ月の研修期間中には、各人が目標を公表いただき、それに沿った内容を一人ひとり計画し、実践しています。研修指導責任者の他、年齢的に近い指導的上席医、後期研修医とのチーム形成を行った上で研修いただけます。大学ならではの、学生へのミニレクチャーなども行っていただき、教育にかかる経験も行えます。診断学的研修としては、的確な生理学的兆候の認識にはじまり、解剖学的評価、画像評価、血液検査データの吟味、心電図評価、超音波検査評価、内視鏡などです。グラム染色など感染の基礎的評価も経験できる数少ない施設です。実践経験として、気管挿管、中心静脈路確保、Aライン確保、胸腔穿刺ドレナージ、開腹手術、整形外科的治療、血管内治療、人工呼吸器管理、血液浄化など、望めば何でも経験したいと思われる内容は網羅されていると考えます。災害医学に関しては、DMAT、MIMMS、EMARGOなど集団災害に関するレクチャーなどは随時行っています。また、全国で唯一、災害訓練を用いた実践的教育の継続を行っており、こちらに興味のある方も是非、当方での研修中に体験してみてください。

地域医療医学センター  
Center for Regional Medicine:CRM



教授・センター長 / 村上 啓雄  
大学病院での研修とは違った、患者さんの診療動線に寄り添った地域医療の現場を体験できます!



プライマリケアから先進医療まで

CRMではそれまではただ単に研修病院の外の医療(保健所、健診センター、血液センターなど)を経験していた研修2年目必須の「地域医療研修」を見直し、平成19年度から「CRM地域医療研修」をスタートさせ、現在までに307名が修了しています。本研修では、地域の中核拠点病院+連携する診療所ユニット等を選択し、患者さんの診療動線に寄り添った地域の医療現場全体を使って、診療所におけるプライマリケアから、拠点病院での先進医療まで幅広く研修することができます。岐阜県内の様々な施設が独自の魅力的なプログラムを提供しており、大学病院では経験できない、地域ならではの医療を皆さんの希望に応じてCRM担当医師がコーディネートします。(CRM地域医療研修Bookletをぜひご参照ください)

※CRM地域医療研修が可能な施設は11-12頁で紹介しています。



第一外科

心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科



臨床教授・副科長 / 岩田 尚  
情熱をもって指導します!



低侵襲 All for one, one for all.

当科には心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科の3グループが、低侵襲の名の下に、心臓血管外科ではoff-pump CABG、大動脈瘤ステント、呼吸器外科では胸腔鏡下肺切除、消化器外科では胸腔鏡下食道切除、腹腔鏡下胃切除、腹腔鏡下大腸切除にも積極的に取り組んでいます。「外科技術を追求する集団」に、一時でも構いません。是非、身を置いてみてください。

第二外科

消化器外科、乳腺外科



臨床講師 / 今井 寿  
癌に挑戦し続ける腫瘍外科医の日常に触れてみませんか?



世界基準の癌集学的治療

当科は消化器外科(食道・胃・大腸・肝胆膵グループ)と乳腺外科があり、癌に対する外科的治療を中心に経験して頂きます。消化器外科では低侵襲手術(腹腔鏡手術、胸腔鏡手術など)が確立されており、内視鏡外科学会技術認定医の手術を肌で感じることができます。乳腺外科では標準的な乳癌治療に加え乳房再建手術が定着しつつあり、最新の形成外科手術も経験できます。手術や化学療法に関する全国規模の臨床試験に数多く参加していることは当科の特徴のひとつであり、「癌治療の未来」を理解できるはず。「2人に1人は癌になる時代」、我々との時間はこれから医療に携わる皆さんにとってきっと有意義なものになるはず。

産婦人科



臨床講師・外来医長 / 早崎 容  
周産期、婦人科腫瘍、生殖医学、女性ヘルスケアの各分野で幅広く研修することができます。



豊富な臨床経験と手厚い指導の提供をお約束します。

- 【周産期医療】産科出血に対するIVR治療では全国トップクラスの症例が集約されています。また、その他多くの管理困難な周産期救急症例が搬送され、大学病院ならではの特殊な症例経験を積むことができます。
- 【婦人科腫瘍】治療後のQOLにも配慮した医療として内視鏡手術、妊孕性維持のための広汎性子宮頸部切除術、子宮体癌における子宮温存治療の導入。子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術。手術現場では即戦力として参加していただき、早期の外科的手技獲得にもつながります。
- 【生殖医学】高度生殖医療(体外受精、胚移植)、悪性腫瘍患者における性腺保護治療、配偶子の保存。

精神神経科



臨床講師・医局長 / 深尾 琢  
尽きることのない心への関心を、私たちと一緒に語り合しましょう。



ヒトの心が読める!

大学病院では、適応障害や摂食障害、うつ病、統合失調症などのcommon diseaseや、様々な身体合併症を抱えるリエゾン・緩和ケア症例を体験できます。初期対応を学びたい研修医には最適な場所です。また、発達障害から認知症まであらゆる年代の患者と出会い、電気けいれん療法やクロザピン投与目的、措置入院などの難治例を経験できます。専門医や指定医が必要な後期研修医は、1年前後で必要な症例を集められます。そして、彼らが語ってくれることのすべてが、ヒトの心に対する理解をグッと深めてくれるはず。

小児科



准教授・副科長 / 折居 建治  
いっしょに未来ある子どもたちのために働きましょう。



小児科は専門性をあわせもつ小児の総合診療科

小児科は、小児の総合診療科として診療範囲が広い科です。さらに疾患のみではなく、成長や発達を含めて全人的な医療を行う科です。大学病院の小児科研修は、これまでの実績に基づき、初期研修では、一般的な疾患を中心とした研修を行っていただき、後期研修では、一般に加えて、大学病院ならではの難治希少疾患、重症度の高い症例、NICU研修も行っていただきます。最短で小児科専門医を取得できるよう研修プログラムを個々の研修される方の状況にあわせて配慮しています。プライマリケアから先進医療まで行うことに加え、さらには世界的な基礎研究からその臨床応用まで行っていける小児スペシャリストの育成を目指しています。

麻酔科  
疼痛治療科



講師 / 熊澤 昌彦  
研修医の皆さんが有意義な経験を通して医師としての基本的な考え方、知識、技術を取得できるようプログラムを作成しています。



侵襲制御

マンツーマンによる指導のもと、手術症例を直接担当することにより周術期管理およびそれに必要な手技を学んでもらいます。  
気道確保、人工呼吸、静脈確保、動脈穿刺、カニューラ挿入などの実技はもとより、今後皆さんが医師として必要な呼吸・循環・代謝の基本的な知識と技能を取得するとともに重症患者管理に必要な薬物の作用や、基本的モニタリングの知識を取得できるように指導します。  
将来的には麻酔科認定医、麻酔科専門医、麻酔科指導医、ペインクリニック認定医、集中治療専門医、医学博士号などの取得を個人の希望に合わせて援助します。

整形外科



准教授・医局長 / 松本 和  
「自発性・積極性を尊重する」をモットーに個人が自分の力を存分に発揮できる分野です。



自発性・積極性を尊重し国際性豊かな整形外科医を育てます！

教室では「自発性・積極性を尊重する」をモットーにしています。個人が自分の力を存分に発揮しながら組織としての調和をとって大きな仕事を達成することが理想です。整形外科は男の職場と思われがちですが、体が小さいとか、非力とか心配することはありません。女性も男性と同等に楽しく、また女性ならではの力を発揮し、活躍のできる職場です。  
岐阜大学整形外科では、関節外科(股関節、膝関節、肩関節、スポーツ整形外科、関節リウマチ)、脊椎・脊髄外科、骨軟部腫瘍外科、手の外科の4つの診療班にわかれ、それぞれがサブスペシャリティーを持ち専門的な治療を行っています。研修では、各診療班の指導医のもと「自発性・積極性を尊重」し、整形外科の基本的知識と診療手技を習得しながら個人のスキルを養います。  
大学病院では学術活動も積極的に行っており、学会発表や論文執筆などの指導を行い、国際性豊かな整形外科医を育てます。  
岐阜大学整形外科の研修に関する詳しい情報はホームページ(<https://hosp.gifu-u.ac.jp/seikei/>)にも紹介しておりますのでご覧ください。

脳神経外科



臨床教授・医局長 / 矢野 大仁  
脳外科の基本診療や脳卒中診療を柱として、さらに希望に応じて専門的治療の一端を経験できるような研修になるよう配慮します。



スペシャリティ

脳外科疾患に対して幅広く対応することと、特に脳卒中に対しては24時間診療を行っています。特に急性期脳梗塞にはtPA治療や血管内治療での血管形成や血栓除去などを積極的に行っています。脳虚血に対するバイパス術、脳動脈瘤に対するネッククリッピング術やコイル塞栓術、内頸動脈狭窄症に対するステント留置術など、幅広い術式に対応しています。  
悪性脳腫瘍に対しては、PET+MRI画像下でのニューロナビゲーターを用いた摘出術や頭蓋底腫瘍の摘出術も積極的に行っています。また神経内視鏡は脳腫瘍の生検や水頭症治療に威力を発揮しています。パーキンソン病を始めとする不随意運動疾患や、顔面けいれん、三叉神経痛などに対する機能的外科手術も行っています。  
これらの幅広く専門性の高い脳外科治療に、チームの一人として取り組んでみませんか。

眼科



講師・医局長 / 澤田 明  
眼は小さな組織にもかかわらず、実によくできた精密機械です。



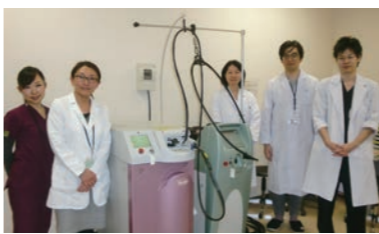
和気あいあい

白内障、緑内障、網膜剥離、斜視など目に関わるあらゆる疾患を取り扱っています。  
眼科治療は実には幅広く、薬物治療からはじまり、レーザー治療、手術治療まで多岐に亘ります。また眼は唯一体内の血管が透見可能な組織であるため、他科と比較にならないほど多くの診断機器が発展し充足しています。  
研修内容としては、外来では、基本的な眼科検査法である視力検査、眼圧測定、細隙灯顕微鏡検査、眼底検査、視野検査、眼底造影検査、電気生理学的検査の手技を修得します。またそれらの検査を通じて、眼科疾患のイロハを学びます。  
手術室では、実際に立会い(白内障、緑内障、網膜剥離などの内眼手術から、斜視、眼瞼、結膜などの外眼手術まで多様)、助手として見学し、手術患者さんの術後ケアを学びます。  
大学病院勤務での平日のサイクルは、外来業務が4日、終日手術日が1日(水曜日)です。  
病棟回診は、木曜日のAM8時30分より行い、また火曜日にはPM7時より術前カンファレンスを行っております。  
隔週金曜日には、AM7時30分より学会発表に準じてスライド発表形式のカンファレンスがあり、症例discussionをしています。

皮膚科



准教授・医局長 / 加納 宏行  
皮膚疾患は病名が多くてわかりにくいといわれます。しかし種々の疾患の診断に大きな役割を果たす分野です。理解しやすいように、わかりやすく解説します。



患者さんの笑顔に出会える

指導医のもとで、診断に必要な診断法、検査法(皮膚生検など)、病理組織の基本的な解釈を研修します。乾癬、レーザー、腫瘍、アトピー、膠原病、水疱症、脱毛症、光線治療、アレルギー検査の専門外来があり、各担当医の指導のもとに皮膚疾患を網羅的に研修することができます。そして興味のある分野を深く研修することもできます。特に血管腫や母斑をはじめ種々の疾患のレーザー治療に力を入れており、積極的に治療に関わることができます。  
また、皮膚悪性腫瘍などに対する手術手技も、基本的手技から到達度に合わせて指導し、皮弁作成や植皮術まで身につくような指導体制を組んでいます。

耳鼻咽喉科



講師・医局長 / 久世 文也  
耳・鼻・咽頭・喉頭の所見をとることができるように指導します。



まずは上気道から

当科では、耳、鼻、咽頭、喉頭、甲状腺などの診察に必要な基本的なスキルを研修します。外来診察を通じて、基本的な診察手技、検査の原理・解釈法を学びます。頭頸部の領域の形成外科の基本手技を学びます。口蓋扁桃摘出術や内視鏡下鼻内副鼻腔手術などの基本的な術式については、上級医の指導のもと、執刀医として担当します。耳鼻科には、耳、鼻・副鼻腔、めまい平衡、聴覚、音声、頭頸部腫瘍、形成外科など、サブスペシャリティがあります。初期臨床研修では希望に応じ、研修領域を選択できます。人工内耳や再建を要する頭頸部腫瘍手術など、大学病院でしか経験できない症例にも接してください。

泌尿器科



講師・医局長 / 安田 満  
泌尿器科という何か取付きにくいイメージがあるかもしれませんが、マイナー科でありながら全身を診ることができる科です。またロボット支援手術など最先端の技術を駆使して治療を行っています。



全身管理から最先端医療まで経験できます

泌尿器科と腎移植外科に関する研修を行います。泌尿器科では尿路性器の腫瘍、尿路性器感染症、排尿障害、腎不全、副甲状腺や副腎の腫瘍、腹圧性尿失禁や骨盤臓器脱を扱う女性泌尿器などを、腎移植外科では生体腎移植や献腎移植さらに移植後の管理を研修することができます。大学では腹腔鏡手術が主ですが、ロボット支援手術を行っている関連病院があります。原則として研修担当医と共に診療・研修を行います。担当医の専門以外も研修が行えるよう配慮します。病棟回診が週2回、病棟症例検討会が週1回、術前検討や手術報告を含めた医局会が週1回あります。

放射線科



講師 / 富松 英人  
画像診断、放射線治療、IVRが学べます。研修医個々のニーズ、希望に応じたフレキシブルな研修プログラムを用意しております。



目指せ!“Doctor’s doctor”and“縁の下の力持ち”  
高い専門性を持って診断、治療、IVRを縦横無尽に展開します

放射線科は大きく3つの部門(画像診断、放射線治療、IVR)より構成されています。すべての部門を広く研修することも、部門を絞って研修することも可能です。画像診断の研修では、放射線科診断専門医の読影指導により、体系的な画像診断のトレーニングを行います。Mnemonics(あんちょこ)を積極的に取り入れたKey所見に基づく幅広い鑑別疾患の網羅と、臨床所見、画像所見に基づく最終診断への絞り込みを丁寧に教えます。放射線治療の研修では、放射線治療専門医の指導により、3次元照射や低位放射線治療、小線源治療など、最新かつ最前線の放射線治療の適応、治療計画、放射線障害の管理などを研修します。IVR研修では、IVR専門医のもとで、IVRの適応、手技管理などを研修します。頭頸部、胸部、腹部、骨盤部、四肢の血管造影および治療を広く学べますが、特に周産期、外傷、動脈瘤破裂などの緊急IVRや大動脈ステントグラフト術など、高次機能病院ならではのIVRが学べます。

検査部



臨床講師 / 岩佐 将充  
研修医の皆さんが将来いずれの診療科を志望しても役立つ検査技能の習得を目指します。



エコーマスターになろう!

医療の分業化が進む現在、検査も例外ではありません。しかし検査結果のレポートを鵜呑みにするのではなく自分で検査をすることで疾患への理解が高まります。主に生理検査を中心に心エコー、腹部エコーを学びます。希望があれば心電図、頸動脈エコー、下肢静脈エコー、呼吸機能、脳波、筋電図、運動負荷試験などなんでも可です。特にエコー検査は簡便・非侵襲的でありながら高い診断性能があり現在では日常臨床において必須のツールです。正確かつ迅速な診断のためには多くの症例を経験することが近道ですが、忙しい研修医生活の中でエコーの勉強だけのために十分な時間を確保することは難しいのではないのでしょうか。当検査部は豊富な症例数と大学病院ならではの特殊症例が経験できます。この機会にどっぷりとエコー漬けになってじっくり学んでみませんか。将来いずれの診療科を志望されてもきつと役立つこと間違いなしです。

病理部



臨床教授・副部長 / 宮崎 龍彦  
病理医を目指す人も、臨床医を目指す人も大いに歓迎します。「病気のかたち」から疾患を読み解くことを学びましょう。



病理形態学と分子生物学的手法による染色体転座、遺伝子増幅、mRNA発現、DNA多型などの解析を組み合わせる高度なコンパニオン診断を積極的に推進しています

病理形態学的診断、特に外科病理標本の診断プロセス、即ち、臨床各科から提出される病理検体をまず肉眼的に観察し、標本作製部位を決定して切り出しを行い、できあがってきた標本を顕鏡して最終診断にいたるという一連の流れに当部門のスタッフとして参加してもらいます。また、機会があれば病理解剖にも参加して、全身をくまなく解析して統合的に病態を理解し、生前の診断・治療の妥当性などを検証し、フィードバックすることも体験できます。研修に用いる症例は、年間1万件にも及ぶ多種多様な症例の中から各研修医が目指す診療科や興味に合わせて選択します。毎日、1~2例の少ない症例をじっくりと検鏡し、形態の変化から病態を読み取り、これまでに得てきた知識と統合して一つひとつ疾患を理解していくという研修を進めてもらいます。部内でのカンファレンス(組織診と細胞診各々週1回)、臨床科との合同カンファレンス(週2回以上)、CPC(病理解剖検討会)にも参加して診療における病理診断の役割を学ぶとともに、症例提示も経験してもらいます。さらに、興味がある方には分子生物学的手法を用いたコンパニオン診断の実際も体験してもらいます。医師としての実力が確実につく研修にできると自負しています。是非、岐大病理部へ!

新生児集中治療部  
NICU



准教授・副部長 / 折居 建治  
命の誕生を支える場で研修しませんか?



命の誕生を支える医療の実践

岐阜大学病院新生児集中治療部は、初期研修での周産期プログラムで産科研修と新生児研修を効率よく研修する方を歓迎いたします。当院は、全国でも数少ない高度救命救急センターを持つ大学病院であるため、母体の救急疾患にともなう救急搬送も多く、それに伴う出産にも対応しています。早産、低出生体重児の医療に加えて、新生児期の代謝性疾患の診断、治療など小児科医として必要な新生児診療能力の習得を目指した研修を行うとともに、診断や治療の難しい病気をもつ新生児の早期診断法の確立および治療法開発を目指し、地域に貢献し、世界に発信するNICUを目指しています。

## ■ マッチング状況

採用年度	募集定員	マッチング数	二次募集	採用人数	採用人数に対する 自大学出身者	採用大学数
平成22年度	22(2)	18(2)	1	17(2)	12	6
平成23年度	30(4)	16(0)	1	13(0)	8	5
平成24年度	30(4)	25(1)	0	22(1)	13	9
平成25年度	33(4)	19(0)	1	18(0)	5	13
平成26年度	33(4)	18(0)	1	17(0)	9	8
平成27年度	37(4)	19(0)	1	16(0)	11	6
平成28年度	36(4)(※3)	25(0)(※1)	0	19(0)(※1)	13	7

<採用大学> 北は北海道から南は沖縄まで全国から集まっています。

※( )内は周産期プログラムの人数(※ )内は地域連携プログラムの人数  
※マッチング数は医師国家試験不合格者なども含む

## ■ 平成29年度研修医募集要項

出願資格	次の要件を満たす者とする。 (1) 第111回医師国家試験を受験し、マッチングに参加登録する者 (2) マッチング不参加者・アンマッチ又は、平成16年以降の医師免許取得者 *ただし、(2)に関しては、マッチング終了後、定員に達していない場合に募集を行います。
募集人員	岐阜大学病院 プログラム 29名(予定) 岐阜大学病院地域連携 プログラム 3名(予定) 岐阜大学病院周産期 プログラム 4名(予定)
選抜方法	(1) 書類審査 (2) 面接試験(10～15分間)
採用試験期間及び場所	期日: 7月下旬、8月上旬(詳細は、決定後、岐阜大学病院医師育成推進センターHP上でお知らせします) 場所: 岐阜大学医学部会議室 (時間及び場所は願書受付後通知します。)
出願書類	所定の選抜試験願書(HPからダウンロード:PDF)又は市販の履歴書に所要事項を記入し、写真(縦4 cm×横3.5 cmで、3ヶ月以内に撮影した同一正面上半身脱帽のもの)を貼付する。 ※希望プログラム及びコースを希望順に記入すること。
出願方法	出願方法 (1) 出願は郵送または持参とする。 (2) 郵送にあたっては、封筒に「医員(研修医)応募書類在中」と朱書きし、書留とすること。 (3) 面接希望日1週間前までに必着
出願期間	7月1日(金)～ ※採用試験日等について要望がある場合には、医師育成推進センターへご連絡ください。

## ■ ホームページ・センター通信のご案内



医師育成推進センター(詳細はP15へ)

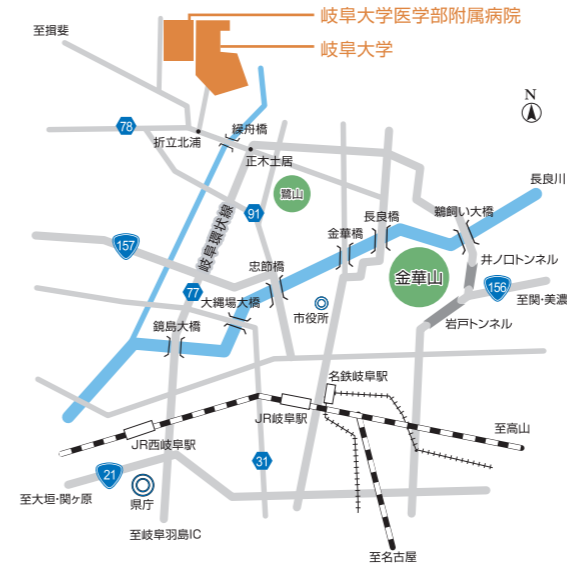
<https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/>

医師育成推進センター通信 **GOrder Made**

<https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/shoki/gordermade/>

見学随時受付中!

## ■ 交通案内図



## ■ 病院までの交通案内

### 鉄道を利用の方

JR 東海道線「岐阜駅」で下車  
名古屋鉄道 名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

### 主要駅からの所要時間

バスのりば	路線	降車するバス停
JR岐阜駅⑨ 名鉄岐阜(神田町通り)④⑤	岐南町線 N45系統 約40分/320円	岐阜大学病院(終点)
	岐阜大学・病院線C70系統 約35分/320円	
JR岐阜駅⑨	C71清流ライナー 学休日運休 約30分/320円	
名鉄岐阜(バスターミナル)⑥ JR岐阜駅⑨	C72直行便 学休日運休 約30分/320円	

## 岐阜大学医学部附属病院医師育成推進センター 公式ウェブサイト 公開中

“ここでしか見られない”  
岐阜大学病院プログラムの詳細情報や最新情報を掲載!!

● 研修5つのpoint  
岐阜大学病院プログラムのアピールポイントを5つご紹介!プログラムの特長が1分でわかります!

● 病院見学・資料請求  
人生の大事な選択だから...  
やっぱり自分の目で見て確かめたい!  
見学は年間を通じて受け付けています!

● 研修医の声  
先輩研修医の目線から  
岐阜大学病院プログラムの  
魅力を紹介!

● 卒後臨床研修プログラム冊子  
最新版の冊子をこちらからダウンロードできます!

● 各診療科等別研修例  
それぞれの診療科で  
どんな研修ができるのか詳細情報を公開!  
公式ウェブサイト限定コンテンツです!

● 医師育成推進センター通信  
医師育成推進センターのホットな話題をご提供します!  
(隔月発行なのでときどきチェックしてみてください)

URL <https://hosp.gifu-u.ac.jp/cct/> または 医師育成推進センター  検索

他にも役立つコンテンツがたくさん!